



奉仕を行っていく責務があると、力強くロータリアンの責務を示しました。

私達は、ジョンF. ジャーム会長のテーマを実践しなければなりません。そのためには、友情をはぐくみましょう。地区内46クラブは、個より地区外クラブに友人を増やし、クラブの拡大に繋がる質の良い会員が増加することで、ロータリアンは一つしかない地球のあらゆる場所・分野で奉仕(SERVICE)の機会を得ることになります。

さらに、1917年にアーチCクラブが「世界で良いことをしよう」をテーマに提案し、カンサス・シティー RCからの26ドル50セント寄付より始まった「ロータリー財団」は、2017年に100周年を迎えます。これまでにロータリーの資金を確保し、「ポリオ撲滅」の先頭に立ち成果を上げてきました。

この機会はロータリアンの築き上げてきた、ロータリーの精神を国際社会・地域社会に発信し、ロータリアンがロータリーの「未来」を今一度考えるチャンスでもあります。

ジョンF. ジャームRI会長は目標として以下のように示しました。

2016-17年度ロータリー目標

優先項目1：クラブのサポートと強化

- 目標1 最近の退職者および若い職業人に働きかけて、会員増強を図る
- 目標2 会員の積極的参加とクラブの充実化を図り、会員維持率を向上させる
- 目標3 RI会長賞へのクラブの参加を増やす
- 目標4 ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる

優先項目2：人道的奉仕の重点化と増加

- 目標5 永久にポリオを撲滅する
- 目標6 年次基金へのクラブ寄付平均、および財団補助金へのDDF(地区財団活動資金)拠出を高める
- 目標7 ポリオ撲滅への支援を続けるために、クラブと政府からの寄付を増やす
- 目標8 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める
- 目標9 青少年や若きリーダーの支援、およびロータリーの6つの重点分野と関連したプログラムや活動において持続可能性を高める

優先項目3：公共イメージと認知度の向上

- 目標10 ロータリーに対する人びとの認識を高める
- 目標11 ロータリーの功績と、「世界でよいこと」をしてきた財団の100年の歴史について広報する